

学習到達度調査結果の概要

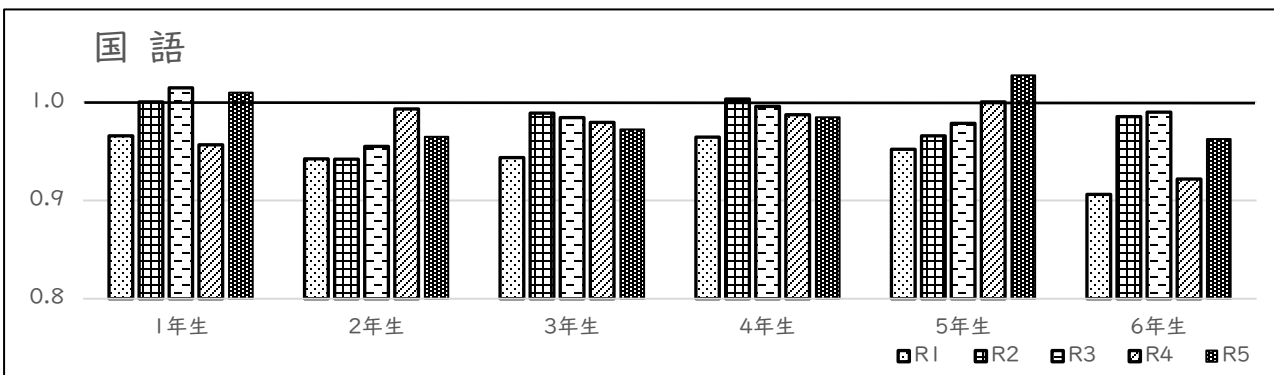
平均正答率

平均正答率とは、全問題数の内、正答数の割合(%)を表したものです。  
 全国参加者平均とは、本調査に参加した自治体の児童の平均正答率を表しています。

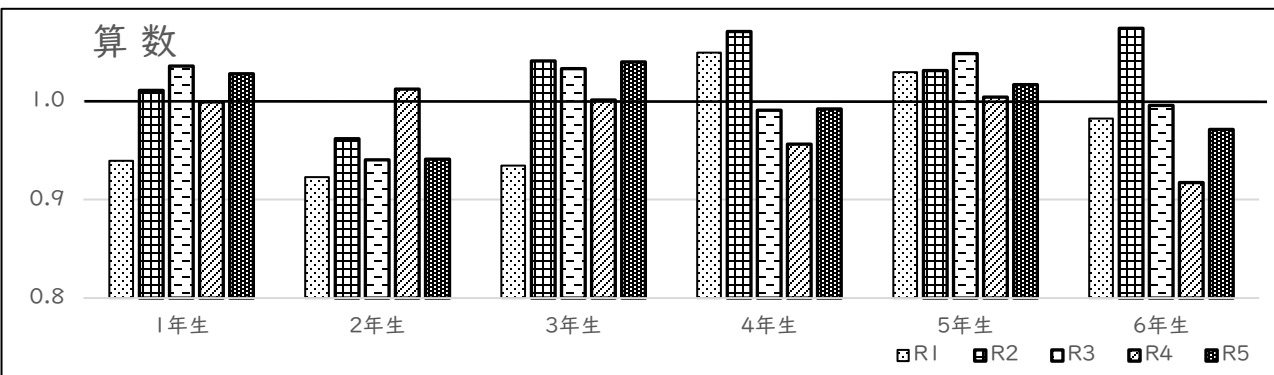
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	全国参加者平均	74.0	79.3	68.4	64.2	69.9	66.6
	摂津市平均	74.7	76.5	66.5	63.2	71.8	64.1
算数	全国参加者平均	78.2	73.1	69.9	64.8	58.3	73.8
	摂津市平均	80.4	68.8	72.7	64.3	59.3	71.7
理科	全国参加者平均	—	—	58.5	66.9	66.3	68.3
	摂津市平均	—	—	55.8	62.6	61.4	60.8

対全国参加者平均比の経年比較

対全国参加者平均比とは、全国参加者平均の数値を1としたときの摂津市の数値を表したものです。

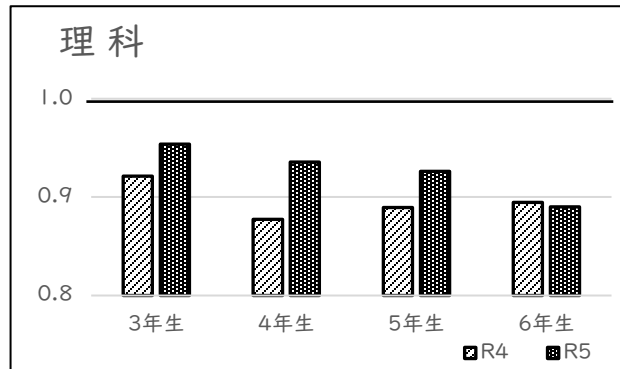


・国語では、1, 5, 6年生が昨年度より上昇し、1, 5年生は全国平均を上回った。  
 3, 4年生は昨年度と同程度であるものの、2年生は全国平均との差が開いた。



・算数では、2年生以外の学年で昨年度より上昇し、1, 3, 5年生で全国平均を上回った。

・3年生から5年生が昨年度より上昇したものの、国語や算数と比べて、全国平均との差が大きい。



(1) 調査の目的

- 児童一人ひとりが自らの学習の定着状況や学習状況を把握して、取り組むべき課題を明確にする。
- 結果をもとに、各学校の学力向上や授業に関する取組み状況を検証し、指導体制及び指導計画の検討を図るとともに、教員一人ひとりの指導に生かすことで、学習指導の充実を図る。
- 本市教育委員会として、明らかになった学習指導上の課題を教育施策に反映させることにより、本市児童の学力向上に取り組む。

(2) 調査の対象学年・児童数 市内10小学校 第1~6学年全児童

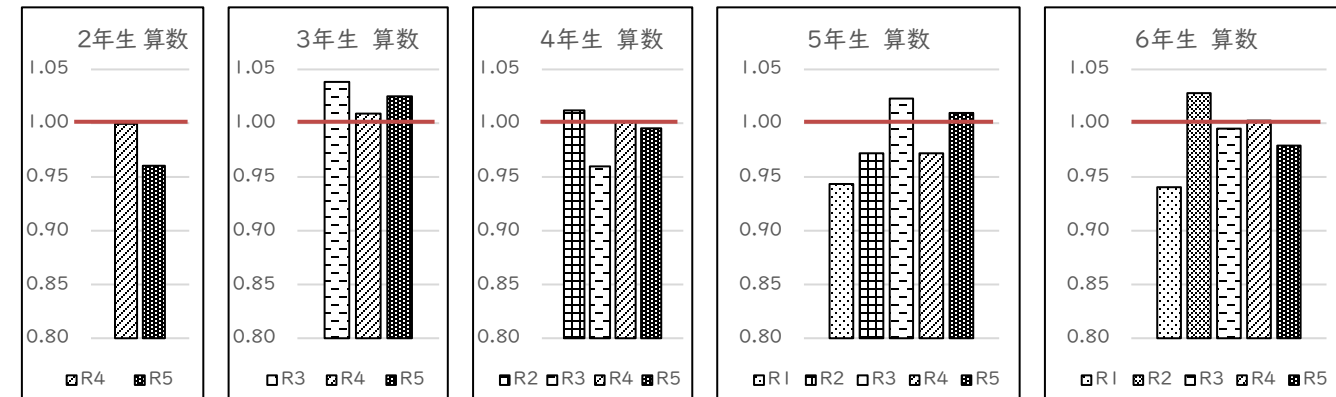
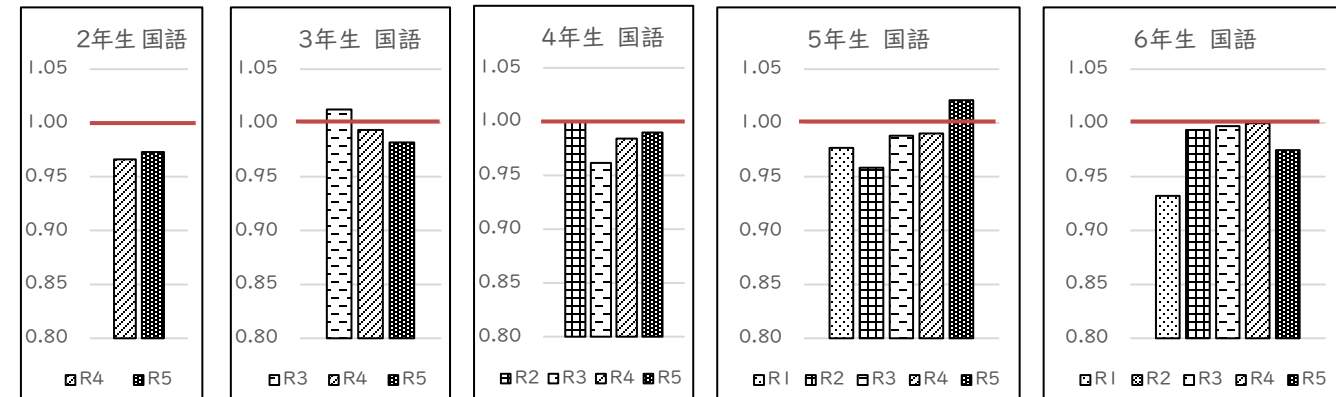
(3) 調査実施日 令和5年12月1日(金)

(4) 調査の内容 委託業者の標準学力調査を実施

- ①教科に関する学習到達度調査 1・2年生(国語・算数) 3~6年生(国語・算数・理科)
- ②生活・学習状況に関する質問紙調査

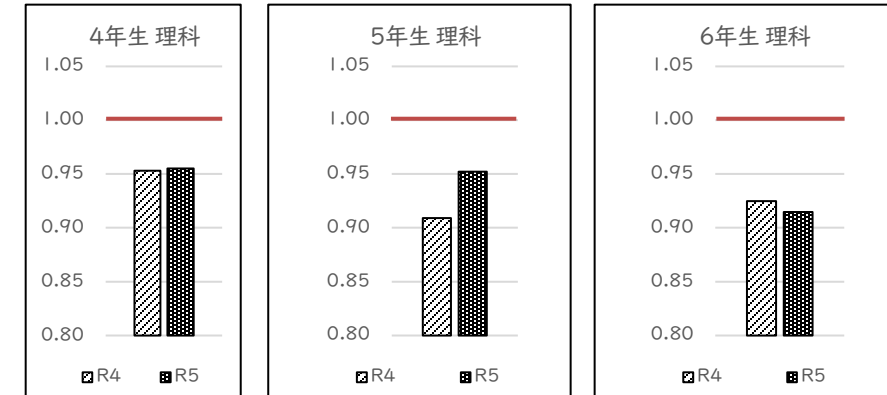
同一集団経年比較

全国平均を1とした場合の本市児童の平均を同一集団で経年比較した資料です。



・同一集団の経年比較において、2, 4, 5年生の国語, 3, 5年生算数, 4, 5年生の理科で昨年度より上昇している。

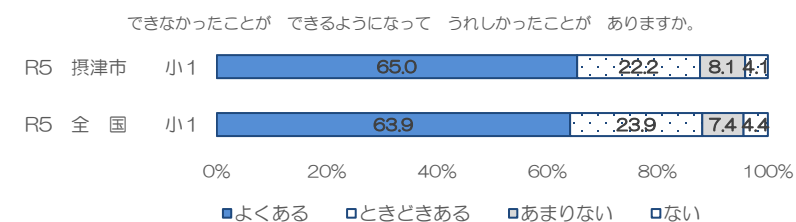
・5年生は、全ての教科で昨年度より上昇した。一方で、6年生は全ての教科で昨年度より低下している。



◇自己肯定感

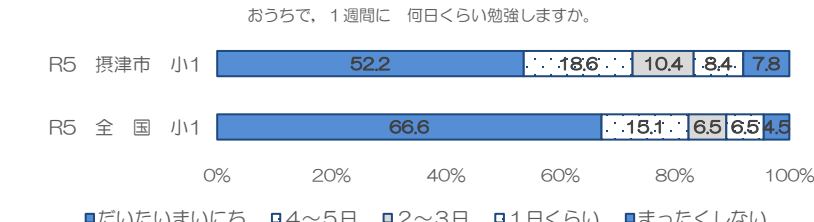
・全ての学年で、強い肯定的回答の割合が全国平均を上回っている。  
・同一集団の経年比較において、2,4年生では、肯定的回答の割合が前学年時を上回り、強い肯定的回答の割合は下回る結果となった。一方で、6年生は、強い肯定的回答の割合が5年生時を上回り、肯定的回答の割合は下回る結果となった。

1年生



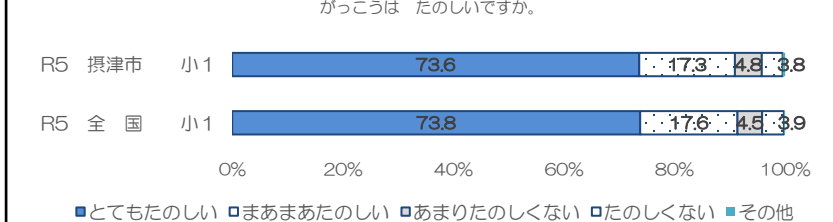
◇学習習慣

・1,2年生,5,6年生で、学校の授業以外に全く学習をしない児童の割合が全国平均を上回っている。  
・同一集団の経年比較において、4年生では、学校の授業以外に全く学習をしない児童の割合が、3年生時から大きく減少し、全国平均を下回る結果となった。

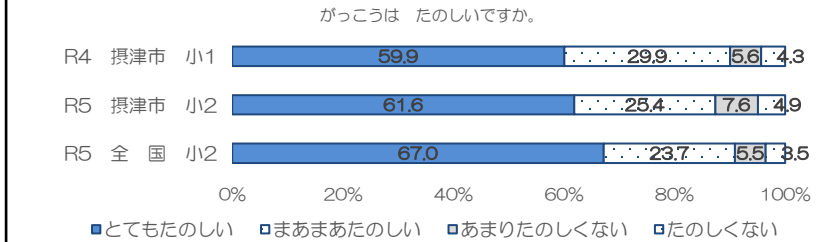
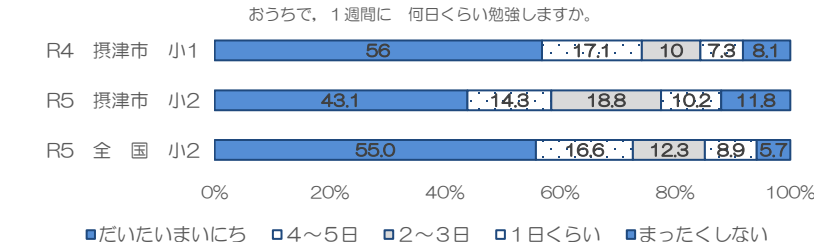
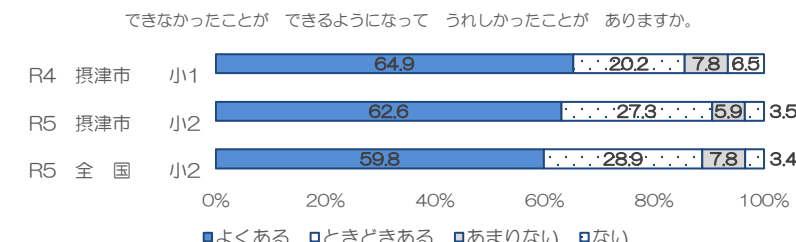


◇学級の絆

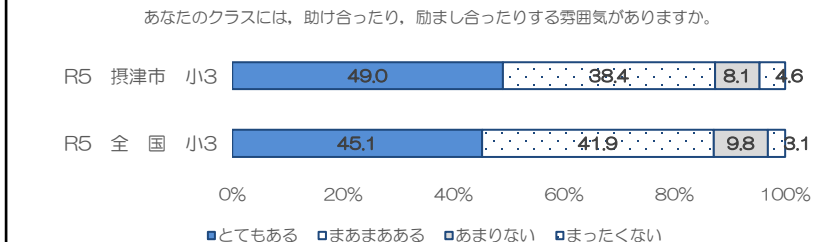
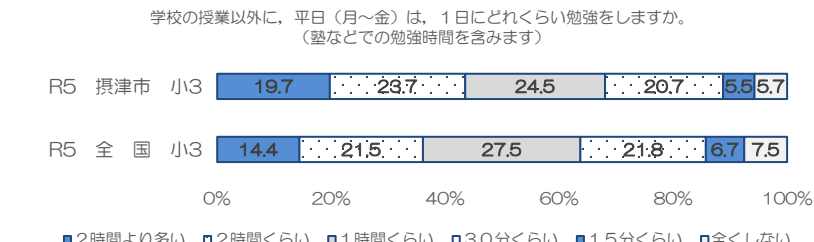
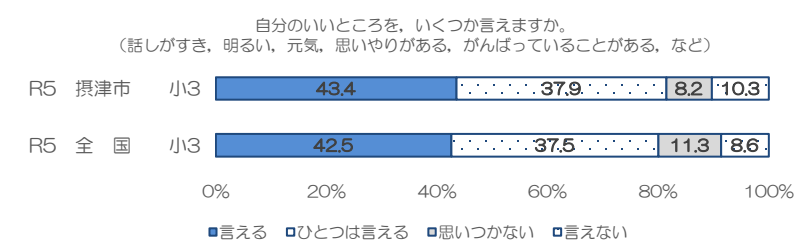
・4~6年生では、「助け合ったり、励まし合ったりする雰囲気がある」と答える強い肯定的回答の割合が全国平均を下回っている。  
・同一集団の経年比較において、2年生では、「学校が楽しい」と答える強い肯定的回答の割合が1年生時より増加したものの、全国平均を下回る結果となった。  
・4年生では、肯定的な回答の割合が3年生時より増加したものの、強い肯定的な回答の割合は、3年生時より減少している。



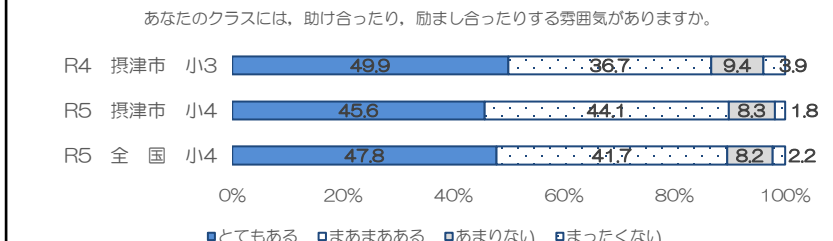
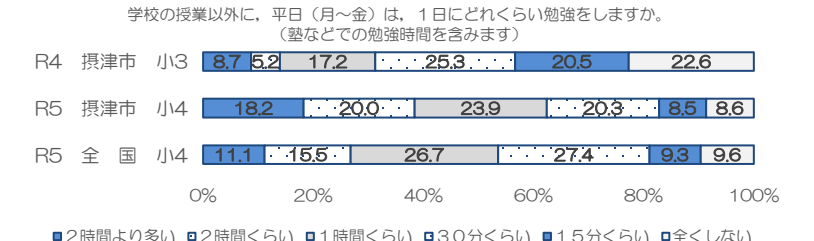
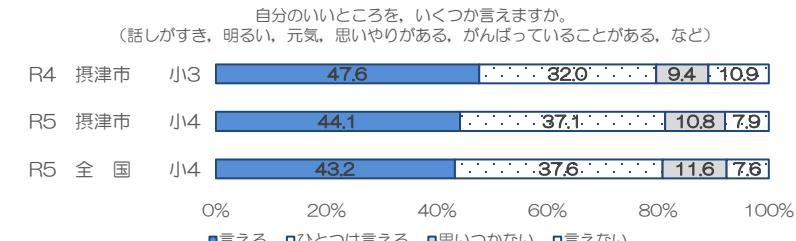
2年生



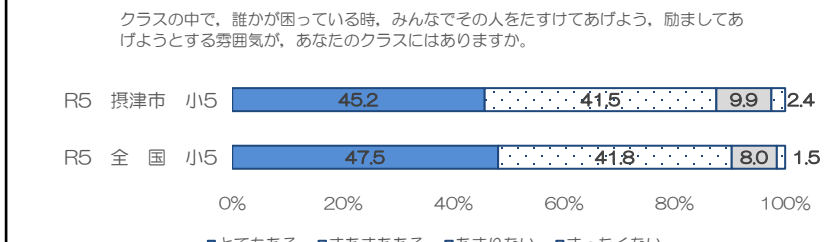
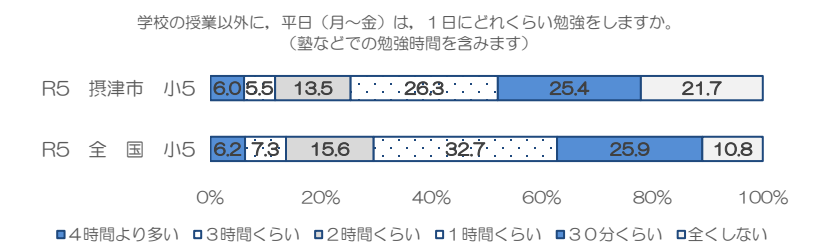
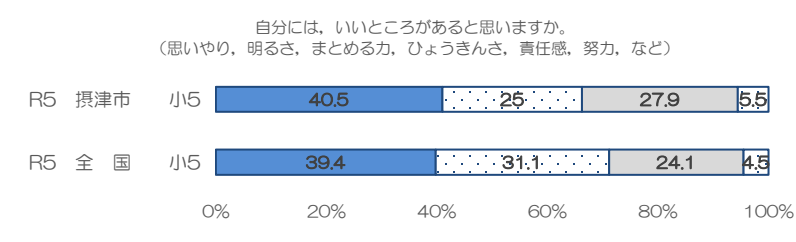
3年生



4年生



5年生



6年生

